

日韓労働者のさらなる連帯強化に向けて 労働者として奮闘することを お互いに確認!

JR東労組代表団6名は、11月8日～10日にかけて、韓国・ソウルで開催される「労働者大会」に参加するため訪韓しました。

ソウル交通公社・パンファ車両基地を見学した際、労働組合の要求で、より働きやすい環境をつくるために、ジムやビリヤード場をはじめとした福利厚生施設などの充実を図ったこと、職場活動をさらに強化するために、レクリエーションやサークル活動などのJR東労組青年部の活動を韓国に持ち帰り実践してきた報告がありました。

「労働者大会」には、約10万人もの労働者が結集し労働諸法制的改悪反対、非正規労働の撤廃や、労働者が更に働きにくい状況に陥っている現状を訴え、声を上げてきました。参加者からは「労働者大会にあれだけの人が集まることに圧倒された」「若手や女

性組合員も多く参加していた」「韓国の仲間がJR東労組の現状を気にかけてくれて、大変な中でも受け入れてくれた。激励もいただき、さらに奮闘していかなければならない」など感想が出されました。

韓国の鉄道、地下鉄で働く仲間たちは、長年にわたり様々な苦難とともに乗り越えてきました。これからも、国境を越えて連帯し、共に奮闘していくことを確認しました。



第29回

国際鉄道安全会議

労働者の観点で「安全風土確立」に向け提言!

10月13日～17日、オーストラリア・パースで国際鉄道安全会議が開催されました。今回は、盛岡新幹線運輸区分会の村井俊幸さんが「本人の証言をもとに原因究明し、鉄道員としてあるべき姿を、ヒューマンファクターの観点から追究し対策を提起する」というテーマで発表しました。

2018年9月30日に東北新幹線の運転士が、仙台駅発車後、強い眠気に襲われて、水沢江刺駅を2分遅通した事象ですが、事象発生時には気が動転してしまい遅延理由を偽ってしまいました。しかし、区に戻ってから正しく報告し直しました。その後、現場長の助言もあり精密検査を受け「重度のSAS（睡眠時無呼吸症候群）」という診断結果が出ました。それにも関わらず、正しい報告が速やかにされなかつ

たとして、日勤教育が行われ、乗務不適格とされて駅職場へ転勤となりました。この事象を発端に、職場集会や原因究明委員会など、多くの議論を積み上げ、職場の安全衛生委員会でも懲罰的な職場風土や、人間労働に対するマネジメントのあり方についての議論も行ってきました。

そして、技術革新と共生する人材をいかに育てるかという視点から「人間労働を重視した企業内マネジメントの体制確立」と「社員の危機管理能力を含めた人間労働の質を高める訓練と労働条件の確保」の2点について提言をしました。

この提言に対してアイルランドの方から「パワハラのようなものほどでもないことだが、単にダメだ、けしからんではなく、私たちが考えやすい提



言でもあったところが良かった」と感想をいただきました。一方、「鉄道事業はAIに全て置き換えられる」という提言もあり、世界的にも議論が進んでいることに危機感を抱きました。改めて情勢を正しく認識して将来を見据え、職場の現実からスタートしていく必要性を感じました。これから原因究明委員会などの職場議論を活発に行い、安全風土の確立を目指します!

自然を愛し、自然を守る中から 人間生活を守り抜こう!!

10月28日～29日、JR東労組ネイチャークラブ第23回総会・第25回例会を開催し、総勢47名の仲間が集まりました。

東日本大震災から8年が経過しましたが、まだまだ復興したとは言えない状況が被災地では続いています。水戸地本の組合員の講演では「原発事故当時、子どもの将来を考え、親との辛い別れを選択し避難した」「心無い風評被害に苦しみ続けた」という生の声が出され、原発事故の大きな影響は、決して消えてはいないことを考えさせられました。

また、今年は台風による多くの水害が発生し、報道された以上の甚大な被害がありました。最近の研究では、ハリケーンや台風など熱帯低気圧の移動速度が数十年前より遅くなっていると言われ、同じ場所に長時間間雨が降り続けることにより、土砂崩れや

河川の氾濫を引き起こしていることは間違いないと思います。このことは地球温暖化と密接に関係があり、ネイチャークラブとしても真剣に向き合わなければならない課題です。

例会では、アクアマリンふくしま、東京電力廃炉資料館を訪れ、その隣接する避難区域を車窓から見ました。放射性物質による環境汚染や自然と人間の共存について学びました。

ネイチャークラブとして、これから自然を愛し、自然と共に生きる社会をつくり出していきます。



連合加盟産別の多くの仲間と 活動範囲の広いボランティアを展開!

連合として、10月30日から行っている「台風19号災害 連合救援ボランティア」の第3陣(11月10日～16日)にJR総連から熊谷組織・共闘部長、JR東労組から菅原情宣担当部長の名が参加しました。私たちの活動に対して、被災された多くの方から感謝の言葉が述べられました。「被災した部屋を見ると、本当に嫌になる。どうしたらいいか困っていた。作業が終了し、本当に助かった」「泥出しが終わったが、大工の作業終了後の荷物の運搬をどうしようか困っていた」「泥出しの時にボランティアの方々に来ていただいて助かったが、今後食器棚など重い物の移動が発生したときにも、また手伝っていただけることを聞いて、本当にありがたい」など、不安の声や涙ながらに感謝の声もいただきました。



また、一人暮らしをしている80代の女性の方からは「ボランティアに来ていただくことが決まっただけだと楽しみにしていたと、作業終了後に手作りの豚汁を振舞っていただきました。大切な人は、作業することだけではなく、何気ない話などコミュニケーションをとることを通じて、少しでも元気になっていただくことです。まだまだ、人手が必要な状況に変わりはありませんが、今後は心のケアなどの活動も必要とされます。労働組合としてできることを仲間と連携しながら、これからも取り組んでいきます!」

JR東労組議員団会議 第31回定期総会を開催!

11月15日、JR東労組本部会議室において「JR東労組議員団会議第31回定期総会」を開催し、経過報告と総括及び2019年度活動方針(案)について満場一致で確認しました。

統一地方選挙では、苦しい組織状況の中でしたが、JR東労組議員団会議所属の立候補者全員の当選を勝ち取ることができました。今後、地方議員として地域で果たす役割なども明確にしてJR東労組運動を推し進めていくことを確認しました。

総会終了後、山口中央執行委員長より、「JR東労組の課題」と題して問題提起を受け組織の現状と課題を共有し、平和・人権・民主主義を謳った日本国憲法を尊重した民主的な活動と地域活動等について意見交換を行いました。



JR東労組議員団会議 新三役

- | | | |
|------|-------|---------|
| 議長 | 高橋美奈雄 | 高崎市議会議員 |
| 副議長 | 秋村 光男 | 青森市議会議員 |
| 事務局長 | 羽田 房男 | 福島市議会議員 |

登山大会で鍛えた足腰で 新生JR東労組に向けて突き進もう!!

10月20日～21日、第28回JR東労組登山大会を秋深まる那須・茶臼岳で、大宮地本の仲間の準備のもと開催しました。今回の登山大会は、東日本エリアに大きな爪痕を残した台風19号の影響もあり68名の参加で開催となりました。被害状況などを考慮し、一時は大会の中止を考えましたが、労働組合だからこそできるボランティアや支援活動の報告、組織の温かさについて参加者全員で共有したいと考え開催に至りました。

登山はAコースとBコースを準備し、初心者やOBの方が参加しやすいように工夫しました。天候も良く、色付く木々の山道をゆっくと登り、茶臼岳に登頂することが出来ました。

仲間と共につくり出した登山大会の教訓をもとに、組織を支える底力になるように今後も奮闘します。

